

資料1「主な計画」

- ・ 今後の区立図書館のサービス・配置のあり方の基本的な考え方（令和5年9月策定）
- ・ 中野区子ども読書活動推進計画（第4次）（令和4年6月策定）

今後の区立図書館のサービス・配置の あり方の基本的な考え方

令和5年(2023年)9月
子ども・教育政策課

《目次》

| | | |
|---|---------------------|----|
| 1 | 「基本的な考え方」策定までの経緯 | 1 |
| 2 | 図書館サービスの現状と課題 | |
| | (1) 図書資料の蔵書状況 | 1 |
| | (2) 図書資料の貸出状況 | 1 |
| | (3) 利用登録の状況 | 2 |
| | (4) 地域開放型学校図書館の運用状況 | 3 |
| | (5) 事業の実施状況 | 4 |
| | (6) 障害者サービスの状況 | 4 |
| | (7) レファレンスサービス | 5 |
| | (8) 電子書籍の状況 | 5 |
| 3 | 今後の図書館サービスの方向性 | |
| | (1) 今後の基本的なコンセプト | 6 |
| | (2) 今後のサービスのあり方 | 7 |
| 4 | 図書館の配置状況 | 10 |
| 5 | 今後の図書館配置の考え方 | 11 |

《資料》

- 1 区民一人あたり蔵書冊数
- 2 図書購入経費と更新年数
- 3 区民一人あたり貸出冊数
- 4 地域開放型学校図書館概要
- 5 図書館数と自治体面積・人口

SNSの普及、インターネット上の知識活用の状況、電子書籍の拡大、自習を始めとした図書館利用に係わるニーズの変化など、図書館を取り巻く環境は大きく変化しています。

そのような中、中野区立図書館のサービスの方向性や施設配置を見直すため、区民による検討会を開催し、利用者の立場からの意見を求めたところです。

本「基本的な考え方」については、区立図書館の現状、検討会での意見、他自治体の動向を踏まえ、今後5～10年程度の図書館サービス・配置の方向性を示すものです。

1 経緯

- 令和3年(2021年)3月 「中野区基本構想」改定
- 4月 地域開放型学校図書館(3施設)開設
- 9月 「中野区基本計画」策定
- 10月 「中野区区有施設整備計画」策定
- 10月末 本町図書館及び東中野図書館 閉館
- 令和4年(2022年)2月 中野東図書館 開設

2 図書館サービスの現状と課題

(1) 図書資料の蔵書状況

(冊/枚)

| | 令和3年度 | 令和2年度 | 令和元年度 | 平成22年度 | 平成12年度 |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 一般図書 | 749,552 | 790,669 | 785,598 | 758,223 | 768,173 |
| 児童図書 | 199,655 | 197,403 | 198,729 | 190,172 | 182,738 |
| 視聴覚CD | 23,402 | 22,161 | 22,116 | 21,855 | 21,010 |

(現状)

中野区立図書館の図書資料については、平成12年と比較して、ほぼ横ばいですが、若干児童図書が増加しています。

この冊数を23区と比較すると、一般図書、児童図書ともに第12位で平均的な蔵書を有していると言えます。(資料1「区民一人あたり蔵書冊数」参照)

(課題)

一方、当該図書の更新速度については、ここ10年間程度は、「20数年」となっています。このため、蔵書が充実していない、老朽化した、新しい本が見つからない図書館となっています。(資料2「図書購入経費と更新年数」参照)

(2) 図書資料の貸出状況

(冊/枚)

| | 令和3年度 | 令和2年度 | 令和元年度 | 平成22年度 | 平成12年度 |
|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 一般図書 | 1,904,183 | 1,527,020 | 1,605,192 | 1,774,585 | 1,533,781 |
| 児童図書 | 440,554 | 302,594 | 319,798 | 350,771 | 283,639 |
| 視聴覚CD | 52,806 | 44,132 | 54,759 | 145,996 | 170,338 |
| WEB予約 | 753,968 | 670,481 | 623,566 | 411,456 | — |

(現状)

平成12年度からの貸出状況を見ると、令和2年度まではほぼ横ばいで、令和2年度から令和3年度にかけては、「一般図書25%、児童図書46%」弱の上昇となっています。この上昇傾向は、23区も同様で、平均で「一般図書18%、児童図書37%」の増加となっています。

(課題)

一方、23区で比較すると、一般図書の貸出は中位を超えていますが、児童図書については22位となっています。(資料3「区民一人あたり貸出冊数」参照)

また、視聴覚CDの貸出については、大きく減少しています。所蔵「数」については大きく変わっていませんが、受入枚数が平成21年度753枚、平成22年度が360枚、令和2年度が251枚で、あまり購入していないこと、配信型の需要が伸びたことなどが原因だと考えられます。

また、近年の傾向として、WEBで予約して、指定の図書館に受取に来る利用者が増加しています。令和3年度で約36%となっており、平成22年度の約23%から大幅に増加しています。この傾向は今後も続くと思われれます。

(3) 利用登録の状況

| | 登録率 | |
|--------|-------|-------|
| | 全体 | 区民のみ |
| 令和3年度 | 17.6% | 14.2% |
| 令和2年度 | 18.3% | 14.7% |
| 令和元年度 | 17.8% | 14.3% |
| 平成27年度 | 18.2% | 14.5% |
| 平成26年度 | 24.2% | 19.0% |
| 平成22年度 | 26.8% | 21.2% |
| 平成12年度 | — | 24.6% |

世代別登録率

| | 10歳未満 | 10歳代 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳以上 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 令和3年度 | 31.0% | 25.7% | 10.4% | 13.4% | 15.4% | 12.8% | 12.6% | 12.5% | 5.3% |
| 令和2年度 | 24.7% | 27.7% | 10.6% | 13.7% | 16.5% | 14.0% | 13.9% | 13.6% | 6.3% |
| 令和元年度 | 24.3% | 25.4% | 9.5% | 13.4% | 16.4% | 14.0% | 14.5% | 13.6% | 6.1% |
| 平成27年度 | 19.2% | 29.3% | 10.3% | 14.1% | 16.9% | 14.2% | 14.4% | 12.4% | 6.3% |
| 平成26年度 | 24.8% | 40.5% | 15.4% | 18.8% | 21.3% | 17.6% | 17.7% | 14.2% | 9.5% |
| 平成22年度 | 41.1% | 44.7% | 22.6% | 23.3% | 23.0% | 18.2% | 17.0% | 12.5% | 6.7% |

(現状)

登録率については、平成27年度から低下しています。令和元年12月には利用者登録の更新を1年から2年に変更しましたが、大きな変動はありませんでした。

また、子どもたちの登録率は、低下傾向にありましたが、令和3年度には10歳未満の登録率の向上がみられます。背景には、新型コロナウイルス感染症の影響のほか、ブックスタート事業、乳幼児図書充実事業、地域開放型学校図書館事業などの影響が考えられます。

(課題)

世代別の登録率を見ると、30歳代から50・60歳代が登録の中核になっていますが、20歳代の登録率が低い傾向にあります。

(4) 地域開放型学校図書館の運用状況

令和3年4月開設の地域開放型学校図書館(ライブラリー)は、中央図書館分室部分での区立図書館サービスと、学校図書館部分での中学生以下(小学生以下保護者含む)

への開放事業から成り立っています。令和3年度の利用人数は以下のとおりです。

| 名称 | 分室利用（人） | | | | | 学校 利用（人） |
|------|---------|-------|-----|--------|--------|-------------|
| | 未就学 | 小学生 | 中学生 | 一般 | 計 | |
| みなみの | 1,422 | 1,092 | 59 | 4,922 | 7,495 | 158 |
| 美鳩 | 2,499 | 2,532 | 217 | 7,511 | 12,759 | 1,063 |
| 中野第一 | 2,365 | 2,380 | 201 | 8,536 | 13,482 | 584 |
| 計 | 6,286 | 6,004 | 477 | 20,969 | 33,736 | 1,805 |

※ 開館日数：平日 109 日、土日祝・長期休業 107 日

（現状）

子ども利用が全体の 56.5%（保護者含む）と、子どもの読書活動の推進の意味では、当初の目的に寄与しています。

また、貸出冊数については、上高田図書館（蔵書冊数 64,932 冊）の貸出冊数が、同期間で一般 128,164 冊、児童 31,662 冊であり、これと比較すると 3 ライブラリー合計で、一般図書は上高田図書館の 62%で、児童図書については 125%弱となっています。

開館日数、蔵書冊数を考えると、「小さい図書館」でも十分な効果が上がっていると言えます。

（課題）

分室の利用が 1 日 52 人であることに対して、学校図書館の利用は 1 日 5.6 人で、利用者の 1 割強にとどまっています。

また、自館蔵書の利用率については、一般図書約 40%、児童図書約 77%となっています。特に児童図書では、目に見える、手に取れることが重要であることがうかがわれます。

| | 自館蔵書貸出冊数 | | | 予約受取冊数 | | | 予約受取率 | | |
|------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|
| | 児童 | 一般 | 計 | 児童 | 一般 | 計 | 児童 | 一般 | 計 |
| みなみの | 6,260 | 5,907 | 12,167 | 1,510 | 4,712 | 6,222 | 19.4% | 44.4% | 33.8% |
| 美鳩 | 13,356 | 9,363 | 22,719 | 3,065 | 9,584 | 12,649 | 18.7% | 50.6% | 35.8% |
| 中野第一 | 10,106 | 8,133 | 18,239 | 5,118 | 22,038 | 27,156 | 33.6% | 73.0% | 59.8% |
| 計 | 32,200 | 23,403 | 53,125 | 9,693 | 36,334 | 46,027 | 23.1% | 60.8% | 46.4% |

(5) 事業の実施状況

| | 令和3年度 | | 令和元年度 | | 平成22年度 | | 平成12年度 | |
|---------------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 回数 | 参加数 | 回数 | 参加数 | 回数 | 参加数 | 回数 | 参加数 |
| おはなし会 | 261 | 1,394 | 458 | 4,666 | 528 | 4,918 | 474 | 6,386 |
| 小さい子向けおはなし会 | 42 | 381 | 85 | 1,052 | 93 | 1,276 | | |
| 季節の子ども会 | 10 | 107 | 40 | 1,440 | 38 | 1,472 | 25 | 868 |
| 絵本講座 | 8 | 126 | 11 | 288 | | | | |
| 児童書講座 | 1 | 18 | 1 | 39 | 1 | 83 | | |
| おしゃべり講座 | | | | | 10 | 113 | | |
| 映画会 | | | | | | | 50 | 1,859 |
| 展示会（しかけ絵本） | | | | | | | 1 | 1,445 |
| その他 | | | | | | | 14 | 347 |
| 地域での事業 | 1 | 34 | 4 | 203 | 4 | 133 | | |
| 指定管理企画（映画会ほか） | 213 | 6,001 | 263 | 6,320 | | | | |

※ 子ども施設等でのおはなし会等は、「おはなし会」に含みます。

(現状)

図書館で実施する事業は、おはなし会が中心で、節目に子ども会（クリスマス会等）、映画会という構成となっています。新型コロナウイルス感染症の影響により対面事業の中止・縮小のため、令和2年度以降は事業が縮小しています。

(課題)

図書館事業については、既存の図書館利用者に対する指向が高く、同時に伝統的な事業が多いという傾向があります。そのため、新規利用者の創出等という側面が十分ではないと言えます。

(6) 障害者サービスの状況

(現状)

視覚障害者等の読書環境の整備に関する法律（令和元年法律第49号）の施行以前から、以下のサービスを実施しています。

《資料等の在宅配送サービス》

来館が困難な利用者には、図書館資料を図書館員が自宅まで配送しています。

令和3年度実績：利用98人、466回、2,055冊

《録音図書の貸出サービス》

視覚障害等により通常の印刷物等を利用することが困難な方に、録音図書を貸出しています。希望する利用者にはデジター図書再生機も貸出している。

令和3年度実績：利用32人、216回、761冊

《点字資料の貸出サービス》

視覚障害のある方に、点字資料の貸出しています。

令和3年度実績：利用1人、2回、2冊

《対面朗読サービス》

視覚障害等のある方に、希望する資料を対面朗読室で朗読しています。

令和3年度実績：利用16人、31回



左：拡大読書器
右：よむべえ



左：再生機
右：デジター図書

《ファクシミリ通信サービス》

会話によるコミュニケーションが困難な方に、ファクシミリで利用者の求める情報を送信しています。

令和3年度実績：登録1名、利用無し

(課題)

デジタイズ図書やデジタイズ図書再生機の貸出、対面朗読サービスなど、障害者に対するサービスも行われていますが、利用者からは、さらなる充実が望まれています。

(7) レファレンスサービス

(現状)

情報を求めている方に、調べている事柄の事実関係が分かる資料を提示したり、文献探しの手伝いをしながら課題解決を支援するためのサービスです。令和3年度に、所蔵調査24,042件、事項調査7,992件の実績がありました。

回答範囲は、以下のとおりです。

- ◆ 質問等に関する資料の紹介
- ◆ 資料の所蔵又は所在の調査
- ◆ 書誌的事項（編著者名、書名、出版関係事項等）の調査
- ◆ 簡易な事実調査
- ◆ 専門的調査機関等についての情報の提供
- ◆ 目録・参考図書、情報探索の援助等による利用者への支援

(課題)

所蔵調査など、レファレンスサービスは活用されていますが、サービスを知らない方もいることから、サービスの周知が必要です。

(8) 電子書籍の状況

(現状)

① 導入状況

現在、中野区立図書館に電子書籍は導入していませんが、すでに23区中13区（令和4年12月現在）が導入しており、導入率は56.5%となります。導入規模については、多い区でも1万冊を超える程度で、中野区の規模で考えると蔵書冊数の1%程度となります。

② 購入形態・価格

電子書籍の購入形態は、大別すると「買い切り」形式と「期間・回数」形式となります。「期間・回数」形式では、「2年間又は52回貸出」などがあり、継続的な契約更新が必要になります。

価格については、本ごとに差はありますが、先行区では、1冊平均3,500円程度となります。

また、紙の本も電子の本も「1冊は1冊」で、どちらの形式でも、同時に10人に貸し出すため

| 分類 | コンテンツ数 | 割合 |
|----------|---------|-------|
| 0類（総記） | 2,679 | 2.4% |
| 1類（哲学） | 7,487 | 6.8% |
| 2類（歴史） | 6,310 | 5.7% |
| 3類（社会科学） | 12,890 | 11.7% |
| 4類（自然科学） | 7,981 | 7.2% |
| 5類（技術） | 10,495 | 9.5% |
| 6類（産業） | 3,940 | 3.6% |
| 7類（芸術） | 6,976 | 6.3% |
| 8類（言語） | 3,736 | 3.4% |
| 9類（文学） | 29,150 | 26.4% |
| 分類なし | 18,851 | 17.1% |
| 総計 | 110,495 | |

※23区導入区システムによる。

には10冊の購入が必要となります。また、作家の意向等により、紙図書のみでの発行など、必ずしも利用者のニーズに合わないこともあります。

一方で、自宅をはじめ、どこからでも利用できるのも、図書館に行くことが困難な方などへのサービスとしては有効だと考えられます。

(課題)

導入の検討にあたっては、児童・生徒・高齢者・障害のある方の利用を視野に慎重に進める必要があります。

3 今後の図書館サービスの方向性

(1) 今後の基本的なコンセプト

- ① 区民が「行きたい」「利用したい」と思える
- ② 資料が充実している
- ③ 多様な利用ができる
- ④ 紙と電子が共存している

① 区民が「行きたい」「利用したい」と思える

中野区の区立図書館の登録率は15%弱(区民登録率)となっています。東京都公立図書館調査によると、23区中23位(児童は12位)となります。登録者数の定義が各区まちまちなので、必ずしも正確ではありませんが、中野区の登録率が高いとは言えません。

区民に利用され、区民のニーズに応えるためには、単に「良い本」があるだけではなく、以下の4点が必要になると考えられます。

- ア ほしいと思う資料がある
- イ 個人で利用できる場所がある
- ウ イベントや展示などが、館ごとに特色がある。
- エ 魅力的な施設である

② 資料が充実している

図書館の資料については、紙書籍、電子書籍、電子コンテンツ、音声資料、点字資料、視聴覚資料等があります。

図書館の基本となる資料の充実に加え、要望の多い資料への配慮も必要になります。予約やリクエストの多い資料についての購入(複本含む)のほか、最近はコミック等の需要増加しており、利用者の希望に即したコレクション構成も大切です。

また、本の新しさも大切で、資料内容の正確さと同時に「借りたい」と思うことにもつながります。特に児童図書については、配架も含め十分に配慮していく必要があります。

③ 多様な利用ができる

一定以上の規模(概ね蔵書冊数10万冊程度)の図書館では、自習、子どもとの時間、新聞や雑誌の閲覧、中学生等のミーティングなど、それぞれが利用できるゾーンの整備が必要です。同時に配架の仕方、閲覧席の利用方法等の見直しが不可欠です。

それらを踏まえ、電子書籍の併用、オンラインデータベースの活用など、「紙」という素材にのみ依存しないことが必要となります。

④ 紙と電子が共存している

電子書籍は、自宅で貸出が受けられること、持ち歩きに便利であることなど、紙書籍に対して大きな優位性があります。同時に、利用できる点数が限定的であること、経費が

紙図書の2~3倍かかるなどの課題もあります。

電子書籍の導入に関しては、紙書籍の代替として導入するのではなく、相互補完関係となるよう導入することが望ましいように思われます。忙しくて図書館に行けない方、高齢・障害などの理由で外出が難しい方、あるいは子どもたちなど、図書館に出向くことが困難な方が利用しやすくなるためのツールとしての使い方が考えられます。同時に、資格勉強用の資料など書き込みを「される」資料などにも電子書籍は向いています。

このように、当面は、「紙」か「電子」かではなく、紙の「苦手」なところを「電子が補う」という運用が、電子書籍（図書館向け）を導入する場合は合理的ではないかと考えます。

また、市販の電子書籍の導入も大切ですが、既存資料の電子化、オンラインデータベースの活用、ネット上での調べ方やサイト集の作成など、電子資料の取扱い、知の拠点としての図書館としては重要な業務であると考えます。

(2) 今後のサービスのあり方

① 蔵書の充実

図書館の基幹サービスは、「本」の提供です。すでに触れましたが、中野区の蔵書数は、23区でも中位に属し、単純な規模のみを言えば、継続的な整備で十分だと言えます。

一方、図書の更新速度は20年以上となり、利用者の望む図書を望むタイミングで提供することは困難だといえます。

これを踏まえ、一般図書10年~15年程度、児童図書5年~10年程度となるよう、蔵書の充実を図っていきます。ただし、これは全体の目安で、古くとも貴重な本もあれば、科学関係などのように早期の買換が必要なものもあります。全体として、区民への適切な「本」の提供を目指します。

また、長期的な課題として、専門性の高い図書の充実も望まれますので、継続的に整備を進めていく必要があります。

② 人気図書の読める図書館

図書の充実は、図書館の基本であり必要不可欠ですが、「読みたい本」がタイミング良く読めることも大切です。そのため、利用者リクエストの把握・分析を踏まえ、購入図書及び複本（同一本の2冊目以降）の購入を進めます。その際の目安として、可能な限り、同一書籍への予約件数（1冊あたり）が、一般図書26件以内、児童図書13件以内となるよう購入を進めていきます。

③ 世代・属性ごとのサービス構成の推進

図書館は誰もが利用する施設です。「今後の区立図書館のサービス・配置のあり方検討会」でも、さまざまな意見がありました。これらを踏まえ、それぞれの立場の方が、より利用しやすくなる工夫を不断に進める必要があります。

例えば、乳幼児や低学年の児童にとって、図書館に静粛性を追求した場合、図書館は緊張する、使いづらい施設になります。親子での読み聞かせや若干の話声は、子どもたちが利用する場合の前提となると思われます。

また、高齢者については、さまざまな電子機器などの利用にサポートが必要になる場合もありますし、障害のある方のためには、施設そのものの最適化やデイジー図書等のサービスの拡充が必要となってきます。

「行きたい」「利用したい」図書館となるためには、世代ごとの最適なサービスをつなげ、乳幼児から高齢者までが「楽しい」と思える読書のできる環境をつくる必要があります。

④ 閲覧席の増加と多様化

図書館の閲覧席での自習禁止は、閲覧席数が少ないことに起因しています。図書館は本来本を読む、本で調べる施設ですから、これは当然ですが、一方で、施設のあり方は時代とともに変わります。調べ物にパソコンなどが一般化しているように、自習等も禁止されるべきではありません。そのため、閲覧席を増やすとともに、明確にゾーニングをしていく必要があります。

⑤ 最新知識に着目した事業・展示

知の拠点としての図書館は、常に最新の知識を発信する必要があります。

過去の大切な資料の収集・保存やその周知は非常に重要ですが、最先端の知識の展示や日常等の気づきの提供など、過去を向かない知識の提供も図書館の大切な役割です。中野区ゆかりの作家展示なども、歴史・郷土史としては重要ですが、より広がりを持つために歴史民俗資料館などと連携して実施するなど考える必要があります。

一方で、知識の広がりや興味の誘発という点で、館ごとの特色ある事業や展示を行う必要もあります。

⑥ 図書館及び図書館サービスの PR

図書館の利用登録は15%弱です。また、図書館利用者の声にも、「小学生以下が証明書無しに登録できることを初めて知った」、「他館の本も借りられるの?」など、運営側から見ると当然ことが、利用者には知られていません。

令和3年度社会生活基本調査（総務省統計局）の趣味・娯楽の調査を見ると、読書を趣味とする人は、15%以上存在しています。電子書籍の利用者、購入して読書をする方など、さまざまな読書形態があると思いますが、図書館の認知度や図書館サービスの周知度を上げることで、より多くの人に利用してもらうための取組が必要です。そのために、以下を促進していきます。

趣味読書（%）

| 総数 | 31.6 |
|--------|------|
| 10～14歳 | 42.6 |
| 15～19歳 | 35.5 |
| 20～24歳 | 33.5 |
| 25～29歳 | 32.7 |
| 30～39歳 | 32.1 |
| 40～49歳 | 33.7 |
| 50～59歳 | 34.2 |
| 60～64歳 | 32.9 |
| 65～69歳 | 31.4 |
| 70歳以上 | 23.9 |

※令和3年度社会生活基本調査

ア 図書館事業のアウトリーチ化

図書館に来る人向けの事業だけではなく、さまざまな機関や施設と連携して、図書館外で実施する事業を増やしていきます。児童館など子ども施設でのおはなし会や公園などでの野外おはなし会、小学校でのブックトークの拡大あるいはさまざまな団体などとの共同事業など、図書館に来ない人の目に触れる試みを増やしていきます。

イ SNS を活用した情報提供

令和3年度から運用している「区立図書館 Twitter」のフォロワー（1,400人弱ー令和4年12月現在）の拡大を進めます。Twitterをフォローすると、図書館からのさまざまな情報が配信されますので、図書館利用者の利便性は高いと思われませんが、フォロワー数が少ないことは、①認知度が低い、②フォローする魅力が無いことが考えられ、その辺を踏まえ、認知のためのキャンペーンの定期開催、発信速度と内容の見直しを進めていきます。

ウ 図書館サービスの周知の促進

特別な理由がない場合、利用者は図書館のサービスに関心を持ちませんので、登録時のサービス情報のままの意識という場合があります。無論、区報、図書館報、ホームページなどでの広報は行いますが、大勢の人を対象とした広報は、関心が無いと素通りしてしまいますので、定期的なキャンペーンや事業など、少しでも関心を持ってもらう工夫が不可欠です。

⑦ 区民による評価の拡充

区民による評価を踏まえた運営を行います。現状では、区の計画を踏まえ、指定管理者が運営を行っています。この枠組みについては今後も変更はありませんが、現行の利用者懇談会に加え、区民による図書館サービスの評価を聞く「常設」の場を設けます。ここでは大人の意見だけではなく、利用者としての子どもの意見も聞いていきます。

評価については、以下を実施し、評価結果はすべて公表します。

ア 蔵書の評価

毎年度末に区立図書館蔵書の評価を行います。評価ポイントは、以下のとおりです。

- ◇ 蔵書構成・割合
- ◇ 蔵書回転率（蔵書が1年に何回借りられたか）
- ◇ 当該年度購入図書の数・割合
- ◇ 予約待機者の件数
- ◇ リクエストへの対応状況

イ サービス状況評価

次の指標数値及び前年比、3年比、5年比の比較を行い、本来の図書館運営の趣旨に沿った指定管理者の運営が行われていることを確認します。

- ◇ 貸出冊数（一般、児童、障害者サービス等）
- ◇ 閲覧席の利用状況（特定日時の目視調査による推計等）
- ◇ レファレンスサービスの利用状況（事項調査、蔵書紹介件数－単なる蔵書検索は除きます）
- ◇ 事業（一般、児童）参加人員等

ウ 利用者アンケート、利用者懇談会

年1回実施している利用アンケート（回答数1,800件）については、各館での紙によるもののほか、ネット環境でのアンケートも実施しています。また、各館ごとに年1回利用者懇談会を実施していますが、こちらの参加者は少数にとどまっています。

これらについては、今後とも質的な向上に努めていきます。

エ 指定管理者によるサービス評価

平成25年4月の区立図書館への指定管理制度導入以降、単年度ごとに行う「自己評価」と指定管理者が3年度目に行う第三者評価は継続し、図書館ホームページで報告します。

オ 区民による評価

区立図書館のサービス内容の検証・評価を行い、利用者目線から望ましいサービス等を提案することを目的とした「会議」を創設します。学識経験者、区民を構成員として、年3回程度の会議を実施し、図書館運営の検証を行います。

また、図書館サービスは大きく一般と児童に分かれますので、大人による会議だけではなく、サービスを受ける児童による会議の開催も年1回程度実施していきます。

4 図書館の配置状況

令和4年12月現在、区立図書館については、中央図書館、中野東図書館、地域図書館5館（野方・南台・鷺宮・江古田・上高田）に加え、中央図書館分室（みなみの小・美鳩小・中野第一小）が3室となっています。

このうち、中央図書館分室については、学校図書館の土日・長期休業中の開放と併せ、地域開放型学校図書館事業を実施しています。（資料4「地域開放型学校図書館概要」参照）

《区立図書館の概要－令和4年12月現在》

| 館名 | 所在地 | 開設年 | 床面積 (㎡) | 蔵書冊数（冊） | | 席数 (机) |
|---------|-------------|------|------------|---------|---------|-----------|
| | | | | 開架書架 | 閉架書架 | |
| 中央図書館 | 中野 2-9-7 | 1993 | 4,480 | 193,926 | 314,127 | 167 |
| 中野東図書館 | 中央 1-41-2 | 2022 | 3,021 | 100,000 | 70,000 | 213 |
| 野方図書館 | 野方 3-19-5 | 1969 | 820 | 72,646 | - | 61 |
| 南台図書館 | 南台 3-26-18 | 1978 | 557 | 65,892 | - | 29 |
| 鷺宮図書館 | 鷺宮 3-22-5 | 1979 | 697 | 62,738 | - | 19 |
| 江古田図書館 | 江古田 2-1-11 | 1986 | 716 | 67,216 | - | 20 |
| 上高田図書館 | 上高田 5-30-15 | 1988 | 775 | 64,932 | - | 8 |
| みなみの小分室 | 弥生町 4-27-11 | 2021 | 198 | 2,257 | - | 8 |
| 美鳩小分室 | 大和町 4-26-5 | 2021 | 148 | 2,394 | - | 8 |
| 中野第一小分室 | 本町 3-16-1 | 2021 | 132 | 2,276 | - | 8 |

※ 中野東図書館蔵書冊数：書架の最大容量（令和3～5年度の3年間で購入・整備）。

中野区の図書館配置数は、区面積を館数で割り返した場合（面積比）で見ると23区中11位となりますが、人口を館数で割り返した場合（人口比）で見ると18位であり、自宅からの「利用距離」は平均的ですが、1館あたり要利用サービス者は多いこととなります。（資料5「図書館数と自治体面積・人口」参照）

また、半径1km圏内の配置（徒歩15分圏）をみると、上鷺宮3～5丁目・鷺宮6丁目等、東中野3～5丁目、中野4丁目・新井2丁目の一部、中央5丁目・本町6丁目の一部など、既存図書館から一定以上距離のある区域が見られます。

| 区 | 面積比 | 人口比 |
|-----|-----|-----|
| 千代田 | 12位 | 1位 |
| 中央 | 17位 | 21位 |
| 港 | 16位 | 9位 |
| 新宿 | 4位 | 5位 |
| 文京 | 1位 | 2位 |
| 台東 | 8位 | 12位 |
| 墨田 | 7位 | 10位 |
| 江東 | 23位 | 19位 |

| 区 | 面積比 | 人口比 |
|-----------|------------|------------|
| 品川 | 10位 | 8位 |
| 目黒 | 5位 | 6位 |
| 大田 | 20位 | 13位 |
| 世田谷 | 19位 | 22位 |
| 渋谷 | 3位 | 3位 |
| 中野 | 11位 | 18位 |
| 杉並 | 13位 | 15位 |
| 豊島 | 6位 | 11位 |

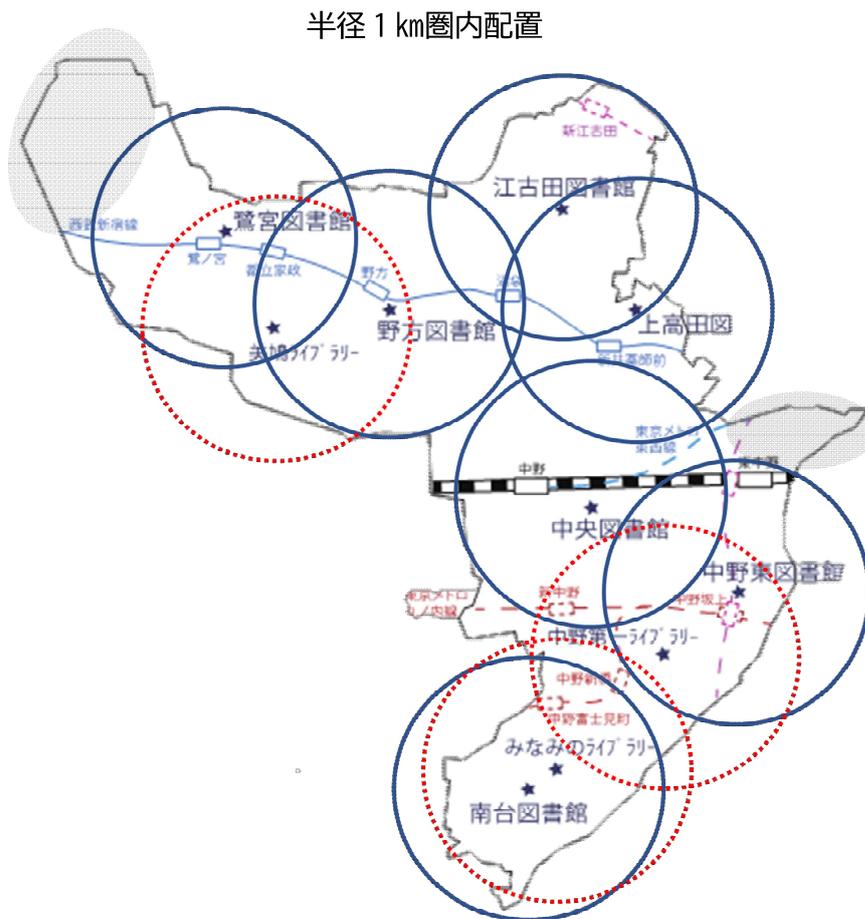
| 区 | 面積比 | 人口比 |
|-----|-----|-----|
| 北 | 2位 | 4位 |
| 荒川 | 9位 | 14位 |
| 板橋 | 15位 | 17位 |
| 練馬 | 21位 | 20位 |
| 足立 | 18位 | 16位 |
| 葛飾 | 14位 | 7位 |
| 江戸川 | 22位 | 23位 |

5 今後の図書館配置の考え方

中野区は、概ね住宅の多い地域で構成されているので、多くの場合、自宅から、あるいは学校・仕事帰りに本を借りに来ると思われます。そのため図書館の配置は、一定の距離内にあることが望まれます。

中野区の図書館数については、面積比では、ほぼ23区の中位ですが、人口比では、23区中の下位となります。これは図書館までの距離は平均的ですが、図書館をゆったりと使用するためには少し手狭ということになります。

図書の入手という側面では、区内どこの図書館の本も取り寄せが出来ますので、図書館の大きさに関係なく利用できますが、閲覧、調べ物などの能力には若干狭いという状況といえます。実際に閲覧席1席あたりの区民数では、中野区は642人で23区中21位となります。



これらを踏まえ、当面の施設配置の方向性は以下のとおりとします。

(1) 既存の図書館配置を基本とする。

他区との比較で、面積比では中位です。また、図書館7館の配置状況を見ると、自宅から概ね1キロ圏内（徒歩15分）に設置され、利用者にとっても利用しやすい配置となっています。このため、地域館を含め、既存の図書館配置を基本とします。

(2) 半径1キロ圏内での整備を当面の課題とする。

図書館から半径1キロ以上の区域は、上鷺宮3～5丁目、鷺宮6丁目等、東中野3～5

丁目、中野4丁目・新井2丁目の一部、中央5丁目・本町6丁目の一部等となっています。

このうち、東中野・上鷺宮地域は、区域が大きいため、乳幼児親子や高齢者も行きやすく、利用しやすい場所に、貸出や返却等の図書館サービスを提供するサービスポイント等の整備が求められます。

(3) 野方図書館、鷺宮図書館の改築等について

中野区有施設設備計画では、野方図書館については2026年から2030年に改築、鷺宮図書館については、鷺宮小学校跡地での複合化となっています。

それぞれの整備の際には、利用者のニーズの多様化を踏まえ、閲覧席数の大幅な増加や、児童コーナーのゾーニング等、中野東図書館の検証を踏まえ、より区民ニーズに沿った図書館を整備します。

(4) 地域開放型学校図書館の取扱い

すでに整備した地域開放型学校図書館については、貸出冊数等の分析は行いましたが、施設規模に対して、十分な貸出が行われ、「小さい」「身近な」図書館の有効性は立証されましたが、一方で地域開放型学校図書館（ライブラリー）の学校図書館部分の利用は、長期休業を除く土日には、1日3.4人と、それほど多くはありません。また、中学生の利用が少なく当該校児童の利用がメインになっています。

また、限られた学校スペースや令和5年度から全小中学校で実施予定の学校図書館開放事業※を考慮すると、必ずしも学校にある必要は無いといえます。

同時に、中央図書館分室としては、開館日の増加やブックポストの設置の要望が多く寄せられ、他館と同様の開館日等とすることが望ましいと考えられます。

これらを踏まえ、今後、新たに小学校への地域開放型学校図書館の整備・開設は行わず、東中野・上鷺宮地域に一定の図書館サービスを提供するサービスポイント等の検討を進めます。

また、これとは別に返却の利便性の向上のため、ブックポストの増設を進めていきます。

※児童・生徒に放課後や夏季休業期間も学校図書館を開放する事業

区民一人あたり蔵書冊数

資料 1

| 区 | 蔵書冊数 | | | | | | | |
|-----------|-----------------|-----------------|--------------|------------|--------------|--------------|------------|------------|
| | 一般① | 児童 | | | 1人あたり蔵書冊数 | | | |
| | | 冊数② | ②/(①+②) | 順位 | 一般 | 児童 | 一般 | 児童 |
| 千代田 | 491,198冊 | 51,650冊 | 9.5% | 23位 | 8.49冊 | 5.61冊 | 1位 | 16位 |
| 中央 | 515,995冊 | 116,364冊 | 18.4% | 22位 | 3.49冊 | 4.91冊 | 6位 | 22位 |
| 港 | 900,264冊 | 310,477冊 | 25.6% | 8位 | 4.06冊 | 8.78冊 | 3位 | 5位 |
| 新宿 | 755,910冊 | 308,185冊 | 29.0% | 5位 | 2.44冊 | 9.95冊 | 15位 | 1位 |
| 文京 | 907,423冊 | 288,900冊 | 24.1% | 12位 | 4.61冊 | 9.86冊 | 2位 | 3位 |
| 台東 | 474,739冊 | 130,813冊 | 21.6% | 17位 | 2.56冊 | 7.22冊 | 10位 | 11位 |
| 墨田 | 423,306冊 | 150,828冊 | 26.3% | 7位 | 1.71冊 | 5.35冊 | 22位 | 20位 |
| 江東 | 1,167,716冊 | 388,520冊 | 25.0% | 10位 | 2.54冊 | 5.84冊 | 11位 | 15位 |
| 品川 | 869,303冊 | 258,170冊 | 22.9% | 14位 | 2.44冊 | 5.38冊 | 14位 | 19位 |
| 目黒 | 931,064冊 | 245,240冊 | 20.8% | 20位 | 3.77冊 | 7.88冊 | 4位 | 8位 |
| 大田 | 1,364,701冊 | 433,323冊 | 24.1% | 13位 | 2.10冊 | 5.54冊 | 18位 | 17位 |
| 世田谷 | 1,470,676冊 | 502,471冊 | 25.5% | 9位 | 1.82冊 | 4.65冊 | 20位 | 23位 |
| 渋谷 | 735,360冊 | 182,492冊 | 19.9% | 21位 | 3.59冊 | 7.50冊 | 5位 | 9位 |
| 中野 | 748,211冊 | 199,655冊 | 21.1% | 19位 | 2.48冊 | 6.60冊 | 12位 | 12位 |
| 杉並 | 1,369,727冊 | 603,002冊 | 30.6% | 2位 | 2.69冊 | 9.94冊 | 9位 | 2位 |
| 豊島 | 549,682冊 | 236,546冊 | 30.1% | 3位 | 2.14冊 | 9.09冊 | 17位 | 4位 |
| 北 | 1,086,450冊 | 297,758冊 | 21.5% | 18位 | 3.46冊 | 8.07冊 | 7位 | 6位 |
| 荒川 | 658,926冊 | 193,545冊 | 22.7% | 15位 | 3.45冊 | 7.96冊 | 8位 | 7位 |
| 板橋 | 1,250,343冊 | 364,251冊 | 22.6% | 16位 | 2.47冊 | 6.04冊 | 13位 | 14位 |
| 練馬 | 1,225,582冊 | 649,099冊 | 34.6% | 1位 | 1.88冊 | 7.47冊 | 19位 | 10位 |
| 足立 | 1,015,551冊 | 394,423冊 | 28.0% | 6位 | 1.66冊 | 5.20冊 | 23位 | 21位 |
| 葛飾 | 972,583冊 | 316,545冊 | 24.6% | 11位 | 2.37冊 | 6.05冊 | 16位 | 13位 |
| 江戸川 | 1,078,604冊 | 460,480冊 | 29.9% | 4位 | 1.78冊 | 5.40冊 | 21位 | 18位 |

※ 人口は「特別区の統計」（令和4年1月1日）。児童数は、同統計の年少人口（0歳～14歳以下）を使用。

※ 蔵書冊数は、「令和4年度東京都公立図書館調査」（令和3年度実績）

図書購入経費と更新年数

資料2

※

| | 令和3年度 | 令和2年度 | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 | 平成28年度 |
|------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| | 2021 | 2020 | 2019 | 2018 | 2017 | 2016 |
| 蔵書冊数 | 848,404 | 988,072 | 984,327 | 983,498 | 980,218 | 974,766 |
| 購入冊数 | 32,337 | 37,379 | 36,242 | 40,086 | 37,519 | 37,973 |
| 経費 | 61,639,886 | 69,556,728 | 65,901,834 | 68,989,991 | 63,840,953 | 63,911,978 |
| 更新年数 | 26 | 26 | 27 | 25 | 26 | 26 |

| | 平成27年度 | 平成26年度 | 平成25年度 | 平成24年度 | 平成23年度 | 平成22年度 |
|------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| | 2015 | 2014 | 2013 | 2012 | 2011 | 2010 |
| 蔵書冊数 | 979,882 | 979,725 | 973,443 | 953,651 | 952,552 | 948,395 |
| 購入冊数 | 36,432 | 34,823 | 34,532 | 34,546 | 35,814 | 36,840 |
| 経費 | 62,658,372 | 62,457,038 | 60,950,076 | 55,645,349 | 59,956,704 | 59,749,374 |
| 更新年数 | 27 | 28 | 28 | 28 | 27 | 26 |

| | 平成21年度 | 平成20年度 | 平成19年度 | 平成18年度 | 平成17年度 | 平成16年度 |
|------|------------|-------------|------------|------------|------------|------------|
| | 2009 | 2008 | 2007 | 2006 | 2005 | 2004 |
| 蔵書冊数 | 944,717 | 962,233 | 953,447 | 969,114 | 981,545 | 983,574 |
| 購入冊数 | 59,990 | 79,062 | 58,416 | 43,198 | 36,670 | 32,651 |
| 経費 | 89,348,039 | 123,607,846 | 92,931,208 | 76,968,089 | 61,909,402 | 57,327,634 |
| 更新年数 | 16 | 12 | 16 | 22 | 27 | 30 |

| | 平成15年度 | 平成14年度 | 平成13年度 | 平成12年度 |
|------|------------|------------|------------|------------|
| | 2003 | 2002 | 2001 | 2000 |
| 蔵書冊数 | 976,497 | 963,385 | 958,298 | 950,911 |
| 購入冊数 | 25,888 | 22,671 | 25,193 | 37,160 |
| 経費 | 45,623,120 | 36,578,250 | 42,161,870 | 63,513,279 |
| 更新年数 | 38 | 42 | 38 | 26 |

※更新年数は蔵書冊数/購入冊数

※令和3年度は中野東図書館蔵書、購入冊数、経費を除く。

(中野東図書館 蔵書数：100,803冊、購入冊数：50,315冊、経費：164,861,042円)

区民一人あたり貸出冊数

資料3

| 区 | 人口 | | 貸出冊数 | | 順位 | |
|-----------|-----------------|----------------|-------------------|-----------------|-----------|------------|
| | 令和4年1月1日現在 | | 令和4年度（3年度実績） | | 一般 | 児童 |
| | 15歳～ | 0～14歳 | 一般 | 児童 | | |
| 千代田 | 57,842人 | 9,207人 | 494,127冊 | 182,982冊 | 4位 | 17位 |
| 中央 | 147,711人 | 23,708人 | 878,073冊 | 648,882冊 | 12位 | 11位 |
| 港 | 221,802人 | 35,381人 | 1,290,119冊 | 920,765冊 | 13位 | 13位 |
| 新宿 | 310,245人 | 30,977人 | 1,909,578冊 | 1,043,512冊 | 11位 | 4位 |
| 文京 | 197,032人 | 29,300人 | 2,860,998冊 | 1,228,848冊 | 1位 | 1位 |
| 台東 | 185,583人 | 18,126人 | 1,069,681冊 | 516,569冊 | 14位 | 9位 |
| 墨田 | 247,539人 | 28,185人 | 940,720冊 | 545,634冊 | 22位 | 18位 |
| 江東 | 459,389人 | 66,563人 | 3,506,088冊 | 2,005,799冊 | 6位 | 7位 |
| 品川 | 355,712人 | 47,987人 | 2,046,224冊 | 1,108,356冊 | 15位 | 15位 |
| 目黒 | 247,150人 | 31,126人 | 2,580,926冊 | 1,227,325冊 | 2位 | 2位 |
| 大田 | 650,479人 | 78,224人 | 3,505,236冊 | 2,164,887冊 | 17位 | 10位 |
| 世田谷 | 808,216人 | 107,992人 | 3,704,494冊 | 2,256,574冊 | 21位 | 16位 |
| 渋谷 | 204,679人 | 24,334人 | 1,314,274冊 | 717,483冊 | 9位 | 8位 |
| 中野 | 301,750人 | 30,267人 | 1,959,862冊 | 440,554冊 | 8位 | 22位 |
| 杉並 | 509,010人 | 60,693人 | 3,855,057冊 | 1,064,316冊 | 7位 | 20位 |
| 豊島 | 257,322人 | 26,020人 | 1,276,007冊 | 952,461冊 | 19位 | 3位 |
| 北 | 314,394人 | 36,884人 | 2,744,367冊 | 998,858冊 | 3位 | 12位 |
| 荒川 | 191,235人 | 24,308人 | 1,464,083冊 | 736,505冊 | 5位 | 6位 |
| 板橋 | 506,865人 | 60,349人 | 2,791,064冊 | 458,388冊 | 16位 | 23位 |
| 練馬 | 651,503人 | 86,855人 | 4,051,369冊 | 2,757,795冊 | 10位 | 5位 |
| 足立 | 613,221人 | 75,885人 | 1,755,894冊 | 1,184,609冊 | 23位 | 21位 |
| 葛飾 | 409,744人 | 52,339人 | 2,154,629冊 | 935,944冊 | 18位 | 19位 |
| 江戸川 | 604,529人 | 85,210人 | 2,774,760冊 | 2,030,202冊 | 20位 | 14位 |

※ 人口は「特別区の統計」（令和4年1月1日現在）

※ 貸出冊数は、「令和4年度東京都公立図書館調査」（令和3年度実績）

地域開放型学校図書館概要

1 施設の性格

小学校に整備した中央図書館分室と当該校の学校図書館の地域への開放を併せて、地域開放型学校図書館事業としており、〇〇ライブラリーと愛称しています。

中央図書館分室は、小学校とは別導線の整備を行い、児童の安全に配慮していますが、利用についてはどなたでもできます。

学校図書館部分については、乳幼児・小学生とその保護者、中学生の利用とし、子どもたちが安心して利用できるよう、また、学校図書館の蔵書が活用されるよう配慮しています。

2 開設日

令和3年4月20日（火）

3 館数・所在地

3館 みなみのライブラリー（弥生町 4-27-11）
 美鳩ライブラリー （大和町 4-26-5）
 中野第一ライブラリー（本町 3-16-1）

4 開館日・開館時間

（1）開館日

| 区分 | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----------|---------|---|---|---|---|---|---|---|
| 通常 | 中央図書館分室 | — | ○ | — | ○ | — | ○ | ○ |
| | 学校図書館 | — | — | — | — | — | ○ | ○ |
| 長期 休業 | 中央図書館分室 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 学校図書館 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※ 中央図書館休館日を除く。学校図書館部分は、学校利用時は開館せず。

（2）開館時間

午前10時～午後7時

5 蔵書冊数（開館時）

各館2,000冊（乳幼児絵本700冊、児童書300冊、一般図書1,000冊）

6 業務内容

（1）中央図書館分室

貸出、返却、利用者カードの登録、更新、蔵書 検索、閲覧、閲覧席の提供、事業の実施（おはなし会等）、乳幼児コーナーの提供など

（2）学校図書館

蔵書の閲覧、閲覧席の提供（自習等可）

※ 学校図書館蔵書の貸出はしていません。

図書館数と自治体面積・人口

資料5

| 区 | 館数 | 面積 (km ²) | 人口 (人) | 面積比 | | 人口比 | |
|-----|-----|--------------------------|-----------|---------------------|----|---------|----|
| | | | | 値(km ²) | 順位 | 値(人) | 順位 |
| 千代田 | 5館 | 11.66 | 67,049 | 2.33 | 12 | 13,410人 | 1 |
| 中央 | 3館 | 10.21 | 171,419 | 3.40 | 17 | 57,140人 | 21 |
| 港 | 7館 | 20.37 | 257,183 | 2.91 | 16 | 36,740人 | 9 |
| 新宿 | 11館 | 18.22 | 341,222 | 1.66 | 4 | 31,020人 | 5 |
| 文京 | 10館 | 11.29 | 226,332 | 1.13 | 1 | 22,633人 | 2 |
| 台東 | 5館 | 10.11 | 203,709 | 2.02 | 8 | 40,742人 | 12 |
| 墨田 | 7館 | 13.77 | 275,724 | 1.97 | 7 | 39,389人 | 10 |
| 江東 | 10館 | 42.99 | 525,952 | 4.30 | 23 | 52,595人 | 19 |
| 品川 | 11館 | 22.84 | 403,699 | 2.08 | 10 | 36,700人 | 8 |
| 目黒 | 8館 | 14.67 | 278,276 | 1.83 | 5 | 34,785人 | 6 |
| 大田 | 17館 | 61.86 | 728,703 | 3.64 | 20 | 42,865人 | 13 |
| 世田谷 | 16館 | 58.05 | 916,208 | 3.63 | 19 | 57,263人 | 22 |
| 渋谷 | 10館 | 15.11 | 229,013 | 1.51 | 3 | 22,901人 | 3 |
| 中野 | 7館 | 15.59 | 332,017 | 2.23 | 11 | 47,431人 | 18 |
| 杉並 | 13館 | 34.06 | 569,703 | 2.62 | 13 | 43,823人 | 15 |
| 豊島 | 7館 | 13.01 | 283,342 | 1.86 | 6 | 40,477人 | 11 |
| 北 | 14館 | 20.61 | 351,278 | 1.47 | 2 | 25,091人 | 4 |
| 荒川 | 5館 | 10.16 | 215,543 | 2.03 | 9 | 43,109人 | 14 |
| 板橋 | 12館 | 32.22 | 567,214 | 2.69 | 15 | 47,268人 | 17 |
| 練馬 | 13館 | 48.08 | 738,358 | 3.70 | 21 | 56,797人 | 20 |
| 足立 | 15館 | 53.25 | 689,106 | 3.55 | 18 | 45,940人 | 16 |
| 葛飾 | 13館 | 34.80 | 462,083 | 2.68 | 14 | 35,545人 | 7 |
| 江戸川 | 12館 | 49.90 | 689,739 | 4.16 | 22 | 57,478人 | 23 |

※ 令和4年度東京都公立図書館調査（令和3年度実績）

※ 館数は「令和4年度公立図書館調査」を参考にホームページ等により蔵書2万冊以上を抽出。

※ 人口は「特別区の統計」（令和4年1月1日現在）

※ 面積比は面積/人口、人口比は人口/館数

中野区子ども読書活動推進計画 (第4次)

令和4年(2022年)6月
中野区教育委員会

目次

| | |
|--------------------------|----|
| はじめに | 1 |
| 概念図 | 2 |
| 1 計画の基本的な考え方 | |
| (1) 計画の目的・性格 | 3 |
| (2) 第4次の「目標」 | 3 |
| (3) 計画策定の視点 | 3 |
| (4) 計画期間 | 5 |
| 2 過去の計画と図書館の現状 | |
| (1) 第3次計画の達成状況 | 6 |
| ① 目標と達成指標 | |
| ② 指標の達成状況 | |
| ③ 第3次計画の評価 | |
| ④ 達成指標の比較（第1次～第3次） | |
| (2) 学校図書館の現状 | 8 |
| ① 蔵書数 | |
| ② 貸出冊数 | |
| ③ 評価と課題 | |
| (3) 区立図書館の現状 | 9 |
| ① 児童図書貸出冊数等の比較 | |
| ② 子ども（18歳以下）の区立図書館登録率 | |
| ③ 区立図書館で実施されるおはなし会の参加児童数 | |
| ④ 団体・施設等の連携 | |
| ⑤ 評価 | |
| 3 第4次計画の達成指標 | |
| (1) 基本的な考え方 | 11 |
| (2) 目標と達成指標 | 11 |
| (3) 達成指標と令和8年度目標値 | 11 |
| 4 第4次計画の主な取組 | |
| 《乳幼児期の取組》 | 12 |
| 《小学生期の取組》 | 14 |
| 《中学生・高校生期の取組》 | 17 |

はじめに

子どもの読書活動は、「言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」と言われています。

これを踏まえ、中野区教育委員会では、平成19年2月「中野区子ども読書活動推進計画」(第1次)、平成24年7月「中野区子ども読書活動推進計画」(第2次)、平成29年5月「中野区子ども読書活動推進計画」(第3次)と、子どもの読書活動の推進に努めてきました。

中野区子ども読書活動推進計画(以下、「計画」という。)(第3次)では、「子どもたちの成長段階」による取組、「家庭・地域、学校、図書館」などのそれぞれの立場からのアプローチ・連携を進めるとともに、学校図書館への蔵書管理システムの導入、区立図書館システムとの連携などICT環境の整備を実施しました。

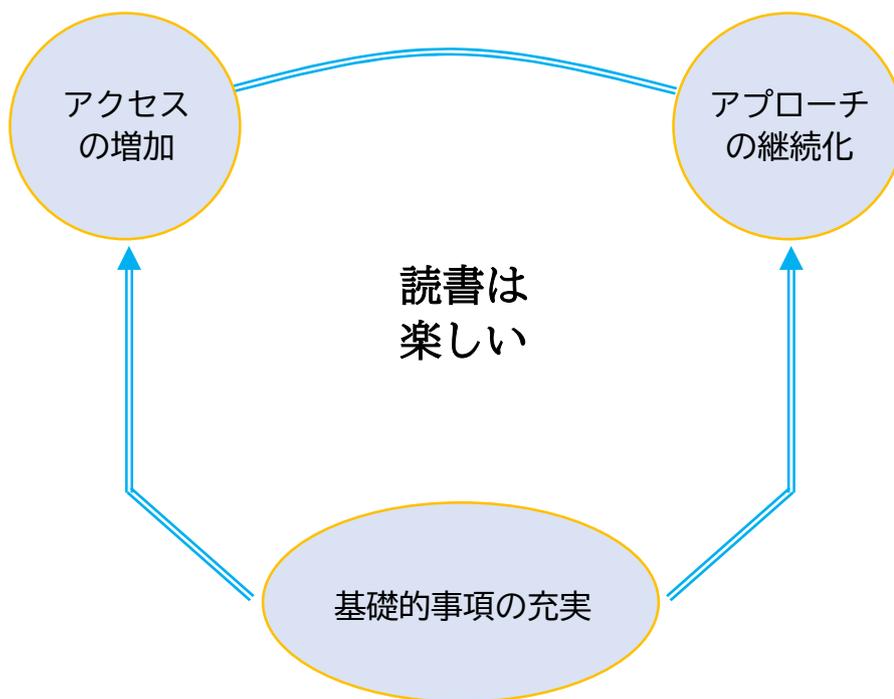
また、学校図書館、区立図書館融合の場としての地域開放型学校図書館を整備・運営し、特に乳幼児とその保護者、小学生・中学生に対する読書環境の整備を開始しました。

一方で、区立図書館児童図書貸出冊数の低迷、学校図書館蔵書の老朽化などの課題が明確になるとともに、GIGAスクール構想、電子機器等の普及など新たな状況にも直面しています。

第4次計画では、現状を踏まえ、令和2年10月から開始したブックスタート事業を起点とする継続的な読書の機会へのアクセスの担保、支援体制の整備、図書館からの能動的な働きかけ・アウトリーチにより、図書館に「行く」に加え、図書館が「来る」という視点で、より多くの子どもや保護者などにアプローチしていきます。

同時に、児童図書の充実、学校図書館蔵書の更新、電子書籍の導入などの課題にも目を向け、子どもの読書活動を支える基盤の整備を推進していきます。

これらを踏まえ、中野区の子どもたちが、より楽しく、より多くの本を読めるよう、的確に計画の推進を図っていきます。



***** 家庭や地域は、本との出会いの出発点 *****

***** 学校図書館は、児童の一番身近な図書館 *****

***** 区立図書館は、本の楽しさを発信する拠点 *****

《家庭》

- *ブックスタートから始まる読み聞かせ
- *プレママ・プレパパの意識づくり
- *親子で楽しむ「家読」のススメ

《地域・施設》

- *読書ボランティアの新設・拡充
- *地域・施設での「本」のPR
- *読書会・本の情報交換会の実施
- *本のミニ展示

《学校図書館》

- *図書 of 充実
- *図書館活用の情報共有
- *文学以外の充実
- *興味からつなげる読書活動

《区立図書館》

- *児童図書の充実
- *館外事業・地域連携の拡充
- *継続する推進態勢の構築
- *年齢別のSNS[親子ブックリスト]

1 計画の基本的な考え方

(1) 計画の目的・性格

読書に親しみ、読書の習慣を身につけることも、人生をより深く生きる力を獲得するひとつとなります。

このような観点から、中野に育つ子どもたちがより一層本を楽しみ、読書を通じて一人ひとりの可能性を伸ばし、未来を切り拓く力を育むために、計画的、継続的な読書活動推進の取組が必要と考え、計画を策定しています。

また、本計画は、子どもの読書活動の推進に関する法律第9条第2項に基づくもので、中野区基本計画、教育ビジョンを踏まえて、中野区における今後の子どもの読書活動の推進に関する施策の方向性と主な取組を示すものです。

(2) 第4次の「目標」

- ① より多くの子どもが、読書を楽しみ、多様なあり方・知識に触れている。
- ② 学校図書館が質的・量的に充実し、授業等に活用されるとともに、身近な図書館として機能している。
- ③ 様々な人が、様々な場面や場所で、読書活動を広げる試みを進めている。

(3) 計画策定の視点

計画の策定、主な取組の形成にあたって、国、東京都の第4次子ども読書活動推進計画を踏まえ、第3次計画を基本としつつ、以下をその視点とします。

- ① 「読書は楽しい」をコンセプトとした活動を推進します
- ② 身近な図書館である学校図書館の積極的な活用と充実をすすめます
- ③ 読書の働きかけを多様な人が多様な形で行います
- ④ 年齢に基づいた読書環境の形成による継続的な働きかけをします
- ⑤ 多様な子どもたちに配慮した読書環境の整備を推進します

① 「読書は楽しい」をコンセプトとした活動を推進します

「読書は楽しい」ことを多くの子どもに知ってもらい、その楽しさを経験してもらうことが大切だと考えています。

そのため、第4次の計画では、様々な場面で本との出会いを増やすこと、展示・事業等も「見たくなる、来たくなる」ように工夫をして、できるだけ多くの子どもたちに「本の楽しさ」を経験してもらうことを目標としています。

② 身近な図書館である学校図書館の積極的な活用と充実

学校図書館は、児童・生徒が日常的に触れることができる「身近な図書館」です。学習・情報センターとして、学習活動に寄与することは重要ですが、同時に、日常的に「読書の楽しさ」に触れる読書センターでもあります。

しかしながら、全国的にも蔵書数が豊富とは言えませんし、学校司書の配置も十分とは言えません。中野区では、学校での読書指導も適切であり、学校司書（学校図書館指導員）も全校に配置され、熱意ある活動をしています。ただ、蔵書については学校図書館図書標準を満たしていない学校があるとともに、本の老朽化も看過できないレベルとなっています。

これらを踏まえ、読書の基盤である本の更新を早め、読みたい本が必ずあるという状態に近づけることが望まれます。

また、司書教諭、学校司書（学校図書館指導員）の活動が十分に共有されているとは言えず、そのための研修や仕組みを増やす必要があります。

③ 読書の働きかけを多様な人が多様な形で行います

本との出会いは偶然に左右されますが、出会いの場が多ければ、それだけ「楽しい」本に出会う可能性が広がります。

学校・施設、区立図書館でも、読書を促進する事業等を従来から実施していますが、地域やボランティアと協働して、より増やしていく必要があると考えています。

また、ネット社会の拡大、GIGA スクールによるタブレット配布、SNS による子育て情報の共有等を踏まえ、電子媒体による情報発信にも、より積極的に取り組む必要があります。

同時に、一人一人に寄り添う「本の紹介」により、個々の子どもたちの興味に基づき新たな本を薦める、今読んでいる本から新たな興味の対象を提案するなどの人的な対応も不可欠です。

④ 年齢に基づいた読書環境の形成による継続的な働きかけをします

第3次計画でも、年齢・学齢に基づく取組を形成していました。年齢区分ごとに取組を最適化することは必要なことですが、一歩進めて、成長過程に沿った提案、事業形成を視野に入れることにより、より効果的に展開できます。

例えば、ブックスタート事業ですが、0歳児の時点で、保護者に絵本を渡し、読み聞かせの重要性を訴えることは大切ですが、同時に、ブックセカンド、ブックサードと年齢に沿った事業・提案・紹介を行うことにより、効果の定着が図られると考えられます。

この継続的な働きかけについては、今後の一つのテーマであり、試行錯誤しながら進めていくべきことだと考えています。

⑤ 多様な子どもたちに配慮した読書環境整備の推進

視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（令和元年法律第49号）、いわゆる読書バリアフリー法の施行を踏まえ、より一層、誰でも使いやすい図書館を目指す必要があります。

読書環境の整備・充実にあたっては、視覚障害以外にも、日本語を母語としない

子ども、帰国・外国人児童生徒等、図書館を利用しにくかった方たちの多様なニーズにも配慮していきます。

(4) 計画期間

令和4年度から令和8年度までの5年間とします。

2 過去の計画と図書館の現状

(1) 第3次計画の達成状況

① 目標と達成指標

| 目標 | 達成指標 |
|--|--|
| 子どもが区立図書館などを利用して、読書を楽しんだり、知識を得たりしている | 児童・生徒の不読率 |
| 学校では、学校図書館の活用等により、子どもの思考力、判断力、表現力が向上している | 授業以外で学校図書館を利用している児童・生徒の割合 |
| 地域のボランティアが育ち、本と子どもを結びつける役割を担っている | 学校、図書館、キッズ・プラザなどで本と子どもを結びつけるためにボランティアの協力を得て実施している事業数 |
| 図書館、家庭・地域、学校が、子ども読書活動の取組に向けて、連携・協力している | 図書館、家庭・地域、学校が互いに連携して、子ども読書活動推進のために取り組んでいる事業数 |

② 指標の達成状況

| 達成指標 | 平成 27 年度実績 | 令和 3 年度目標 | 令和元年度実績 |
|--|--------------------|------------------|--------------------|
| 児童・生徒の不読率 | 小 3.9% 中 6.4% | 小 0% 中 0% | 小 3.7% 中 1.6% |
| 児童・生徒の読書冊数/月 | 小 10 冊 中 4 冊 | 小 12 冊 中 6 冊 | 小 11 冊 中 4 冊 |
| 授業以外での学校図書館利用割合 | 小 94.0% 中 76.6% | 小 100% 中 100% | 小 91.1% 中 74.1% |
| 学校、図書館、キッズ・プラザ等で本と子どもを結びつけるためボランティアの協力を得て実施している事業数 | 65 事業 | 84 事業 | 107 事業 |
| 図書館、家庭・地域、学校が互いに連携して、子ども読書活動推進のために取り組んでいる事業数 | 36 事業 | 46 事業 | 108 事業 |

③ 第3次計画の評価

児童・生徒の不読率については、東京都の平均が小学生 3.7%、中学生が 9.5%であり、令和 3 年度目標には届いていませんが、全体として順調に推移しています。読書冊数については微増という状況です。

授業以外での学校図書館利用割合については、平成 27 年度実績より令和元年度実績

は下回っており、今後も継続して向上を図る必要があると考えられます。

また、「学校、図書館、キッズ・プラザ等で本と子どもを結びつけるためボランティアの協力を得て実施している事業数」、「図書館、家庭・地域、学校が互いに連携して、子ども読書活動推進のために取り組んでいる事業数」については、大幅に目標を上回っており、子ども読書の推進に係わる意識の向上があられていると考えられます。

④ 達成指標の比較（第1次～第3次）

第1次計画から第3次計画までの関心を明確に示すものは、各計画の達成指標となります。各計画においては、ほぼ同様の目標を持ち、計画を推進してきましたが、それぞれの計画で重点が異なります。下表は、各計画の指標を同一指標を基準に並び替えたものです。

| 第1次計画 | 第2次計画 | 第3次計画 |
|---|---|--|
| ○一斉読書を実施している学校数 | | ○児童・生徒の不読率 ○児童・生徒が1か月間に読んだ本の冊数 ○授業以外で学校図書館を利用している児童・生徒の割合 |
| ○区立図書館の子どもの図書貸出冊数 ○区立図書館の子ども（18歳以下区民）の登録率 ○図書館で実施されるおはなし会の参加児童数 | ○区立図書館の子どもの登録率 ○図書館で実施される子どもを対象にした事業の参加者数 ○図書館見学会、体験学習の参加者数 | |
| | ○図書館と事業の連携・協力をしている施設や団体数 | ○図書館、家庭・地域、学校が互いに連携して、子ども読書活動推進のために取り組んでいる事業数 ○学校、図書館、キッズ・プラザなどで本と子どもを結びつけるためにボランティアの協力を得て実施している事業数 |
| ○地域に開放されている学校図書館数 | ○地域に開放されている学校図書館数 | |

(2) 学校図書館の状況

① 蔵書数

学校図書館の最低限の充実度を俯瞰する一つの目安に、文部科学省が定めた「学校図書館図書標準」があり、第1次計画の取組においても、全小中学校で達成されるよう取組が記述されています。

ちなみに、平成18年9月現在では、区立小学校は29校中23校(79.3%)、区立中学校は14校中6校(42.9%)が基準冊数を保有していました。令和元年度では、区立小学校77.3%(東京都平均72.5%)、区立中学校40.0%(東京都平均56.7%)となっており、ほぼ同一の状況であると推察されます。

なお、学校図書館蔵書の出版年による割合は別表のとおりで、新しい本による読書環境の構築に課題があることが伺われます。

※ 東京都平均は、平成28年度「学校図書館の現状に関する調査」から。

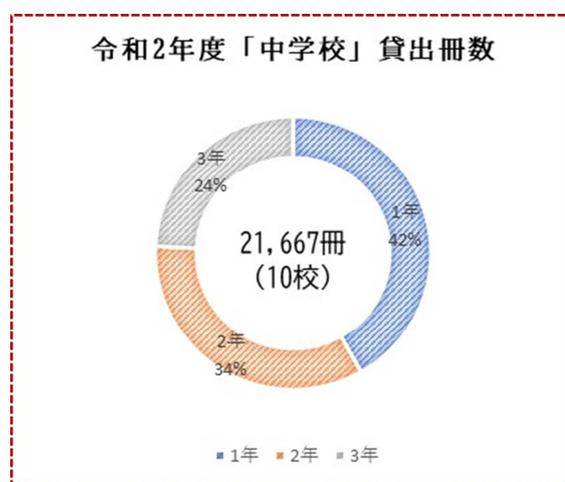
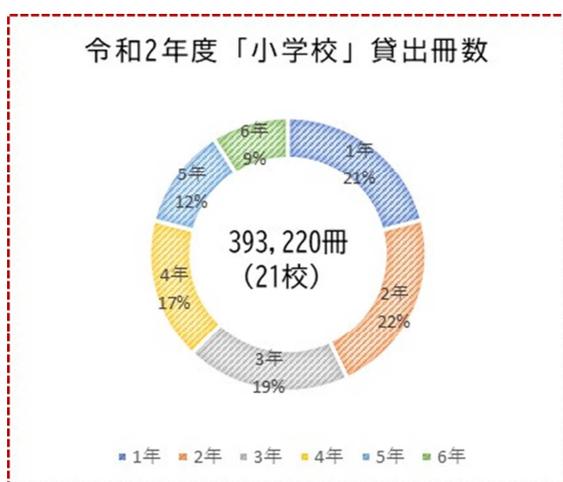
《学校図書館蔵書出版年別表》 ※令和3年5月現在。学校図書館システムから抽出。

| | | 2021～2012 | 2011～2002 | 2001～1992 | それ以前等 |
|-----|-------|-----------|-----------|-----------|-------|
| | | 10年以内 | 20年以内 | 30年以内 | |
| 小学校 | 0～8門 | 16.3% | 33.0% | 32.2% | 18.5% |
| | 9門・絵本 | 11.7% | 33.4% | 25.8% | 29.0% |
| | 計 | 13.5% | 33.1% | 28.4% | 24.9% |
| 中学校 | 0～8門 | 17.4% | 35.5% | 31.4% | 15.7% |
| | 9門・絵本 | 21.1% | 39.1% | 20.9% | 18.9% |
| | 計 | 19.1% | 37.2% | 26.4% | 17.3% |

0～8門：哲学・歴史・社会科学・自然科学・芸術等 9門：文学

② 貸出冊数

貸出冊数については、令和2年度(2020年度)に学校図書館システムを導入したため、システム的には同条件で比較ができますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、学校図書館の利用に様々な制約がありましたので、今回は参考として掲載しています。



③ 評価と課題

学校図書館の利用については、小学校では中学校に比較して使われているように感じられます。これは、読書指導などが学習に組み込まれていることが一つの理由だと考えられます。

また、各学校では、朝読、学級文庫、館内展示や各校でのビブリオバトル（中学校）の実施等、教育の観点からは、十分な対応が行われており、不読率の改善など一定の成果があがっています。

同時に、学校図書館の図書購入経費については、23区平均の約半分で、学校図書館蔵書が全部更新されるまでに、25年以上かかります。

これらを踏まえると、まず読書活動の基礎となる「図書の更新」により、読書冊数（ページ数）の増加を図ることが妥当だと考えられます。

いずれにしても、すべての児童・生徒が身近にアクセスできる図書館であることを踏まえ、「関心と興味」を刺激するような試みを今以上に増やしていくことが肝要です。

(3) 区立図書館の状況

① 児童図書貸出冊数等の比較

子どもの読書活動推進の結果については、その自発的な部分については、各家庭の図書購入費と区立図書館の児童図書貸出冊数に、その傾向が現れると推定されます。

以下については、中野区立図書館全館において、児童図書の貸出を個人別、団体別にまとめた表になります。

《児童図書貸出冊数（個人・団体）》

| | 平成21年度 (第1次) | 平成26年度 (第2次) | 令和元年度 (第3次) |
|------|-----------------|-----------------|----------------|
| 個人貸出 | 353,561冊 | 302,199冊 | 319,798冊 |
| 団体貸出 | 27,240冊 | 21,958冊 | 23,641冊 |

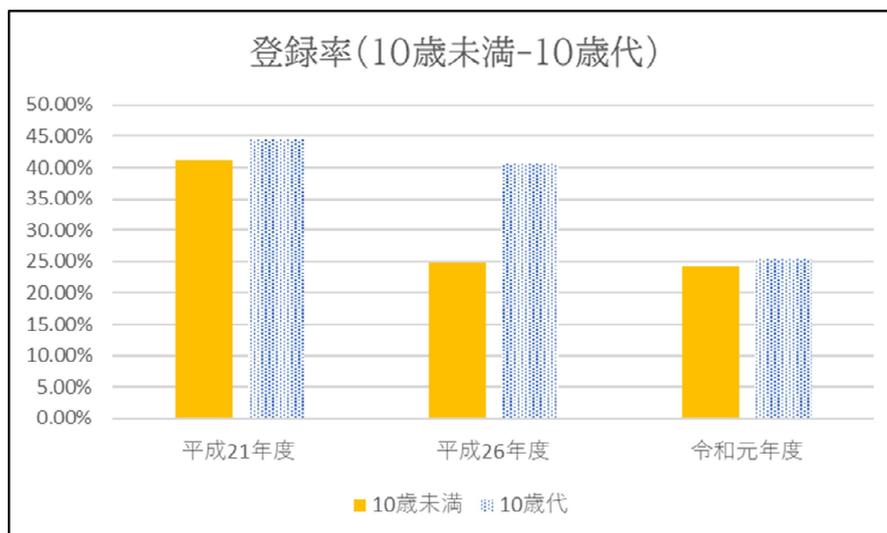
第1次の計画期間と現在を比較すると、個人貸出、団体貸出ともに減少しています。

また、第1次計画では、児童図書貸出冊数（個人貸出）350,000冊を目標値としており、当該冊数には、現時点でも到達していません。

さらに、23区での児童図書の貸出冊数（1人あたり）を比較すると、中野区の貸出冊数は、23区平均の半分強であり、最も貸出数が多かった区は、中野区の3倍以上の貸出がありました（令和2年度東京都公立図書館調査から）。

② 子ども（18歳以下）の区立図書館登録率

中野区立図書館での18歳以下の方の登録率ですが、第1次計画では50%を目標としていましたが、令和元年度中野区立図書館事業報告書によると、10歳未満の登録率24.3%、10歳代の登録率25.4%となります。



③ 区立図書館で実施されるおはなし会の参加児童数

読み聞かせの大切さや本の楽しさを直接伝えるおはなし会等の事業は、図書館としての重要な広報活動です。参加者が増加すれば、本を読む(=借りる)方が増加します。逆に縮小すると、図書館としてのPRの場が失われます。

この事業の参加者数ですが、第1次計画での目標値は10,000人であり、令和元年度のおはなし会等児童関連事業の参加数は7,158人でした。

《おはなし会等参加者数》

| | 平成21年度 (第1次) | 平成26年度 (第2次) | 令和元年度 (第3次) |
|------|-----------------|-----------------|----------------|
| 参加者数 | 7,918人 | 7,808人 | 7,158人 |

④ 団体・施設等の連携

団体や地域等との連携(おはなし会等による館外事業の実施)については、第2次計画に「図書館と事業の連携・協力をしている施設や団体数」が出てきており、目標値が24か所であり、令和元年度(第3次目標:46事業)の実績が、「図書館、家庭・地域、学校が互いに連携して、子ども読書活動推進のために取り組んでいる事業数」が108事業となっています。

こちらについては、「か所数」と「事業数」の違いはありますが、計画を進展させたと言える数値になっています。

⑤ 評価

区立図書館における児童図書の個人貸出冊数、団体貸出冊数は、微減又は現状維持であり、子どもの読書活動に関わる取組が成果を挙げたとは言えません。

また、区立図書館の個人貸出冊数(児童)については、23区で比較した場合、大きく低迷しており、学校、各機関、ボランティア等の協力は得られているが、子どもの読書活動にその効果が現れていないようにみえます。

同時に、一般図書の個人貸出冊数について、ほぼ横ばいであることから、継続的な利用者の満足度は比較的高く、新規利用者が少ない可能性が推察されます。

3 第4次計画の達成指標

(1) 基本的な考え方

読書活動が「推進」された場合、読まれる本は「増加」します。

読書活動では、その質が重要であることは当然ですが、児童図書貸出冊数が低迷する現状では、まず「図書館、書店」に子どもが行くこと、そして興味のある本を読むことを、より多くの方が行うことを優先する必要があります。同時に読書の質を高めるためのブックリスト、司書への相談、司書からの声かけ等の働きかけも望ましいと考えられます。

そのためには、読書との接点の少ない子どももいますので、可能な限り子ども関連施設・活動に図書館員やボランティア等が出向いて、楽しさの伝道に努めることにより、少しでも接点を増やすことが大切です。

また、学校図書館については、児童・生徒が興味を持てる「本」と出会えるよう図書の量的な充実を図ることが望まれます。

(2) 目標と達成指標

| 目標 | 達成指標 |
|--|--|
| より多くの子どもが、読書を楽しみ、多様なあり方・知識に触れている。 | 区立図書館児童貸出冊数 学校図書館の貸出冊数 |
| 学校図書館が質的・量的に充実し、授業等に活用されるとともに、身近な図書館として機能している。 | 学校図書館貸出冊数 学校図書館図書標準達成率 |
| 様々な人が、様々な場面や場所で、読書活動を広げる試みを進めている。 | 読書活動を促進する事業数（区立図書館） 読書活動を促進する事業数（区立図書館以外） |

(3) 達成指標と令和8年度目標値

| 達成指標 | 実績 | 令和8年度目標 | 備考 |
|---------------------------|------------------------|------------------------|----------|
| 区立図書館児童貸出冊数 | 319,798冊 | 500,000冊 | 実績：令和元年度 |
| 学校図書館貸出冊数 | 392,657冊 | 488,300冊 | 実績：令和2年度 |
| 学校図書館図書標準達成率 | 小学校 77.3% 中学校 40.0% | 小学校 85.0% 中学校 60.0% | 実績：令和元年度 |
| 読書活動を促進する事業数 （区立図書館以外） | 107事業 | 150事業 | 実績：令和元年度 |
| 読書活動を促進する事業数 （区立図書館） | 40回 | 167回 | 実績：令和元年度 |

4 第4次計画の主な取組

「より多くの子どもが、読書を楽しみ、多様なあり方・知識に触れている」状態を拡大・継続することが、本計画の目標であり、そのため、身近な図書館である「学校図書館」の充実、区立図書館をはじめとした多くの人による働きかけが必要となります。

各種事業の基本的な考え方については、学校図書館の蔵書数などの基礎的な事項の整備とともに、「楽しく」、「有意義」な読書の経験をより多くの子どもに体験してもらうこと、また、各年代に応じて様々な働きかけを行うこと（アクセス、アプローチ）により、継続的に読書に親んでもらうように構成していきます。

なお、事業の構成については、継続的な読書活動の推進の意味を込めて、年代別として構成します。

《乳幼児期の取組》

| ブックスタート事業の実施 | | 継続 |
|--|---------|-------------------|
| 0歳児(2400人程度)を対象に、読み聞かせの必要性、重要性を理解してもらうため、ブックスタートパック(絵本2冊、パンフレット1冊、バッグ1つ)の配布を区立図書館で実施します。 | | |
| | 令和2年度実績 | 502人(10月~3月) |
| | 令和4年度目標 | 1440人/年(0歳児の約60%) |
| | 令和8年度目標 | 1929人/年(0歳児の約80%) |
| プレママ・プレパパ絵本講座 | | 新規 |
| はじめてパパ、ママになる「プレママ・プレパパ」を対象として、出産後の読み聞かせ等の参考となるよう「絵本講座」を実施します。 | | |
| | 令和2年度実績 | 実績無し |
| | 令和4年度目標 | プレママ・プレパパ絵本講座8回 |
| | 令和8年度目標 | プレママ・プレパパ絵本講座20回 |

| | | |
|---|-----------|--|
| ブックリストの配布と個人向けブックリストの配信 | | 拡充 |
| 乳児・幼児・小学生・YA 等への「おすすめ本」のリストを作成・更新・配布をします。また、SNS(Line 等)を活用して、月齢・年齢(0 歳児～15 歳)や興味に応じた個人向けのブックリストの配信を行います。 | | |
| | 令和 2 年度実績 | 乳幼児 7708 部 小学生 10263 部 中学生 3380 部 |
| | 令和 4 年度目標 | 乳児:母子手帳交付時・3～4 ヶ月検診時に配布 幼児:入園児に配布 小学生・中学生:入学時配布 SNS による配信の仕組み検討、データベース作成開始 |
| | 令和 8 年度目標 | 配信(令和 7 年配信開始予定) |
| 区立図書館でのおはなし会等の充実 | | 拡充 |
| ブックスタート事業で来館した利用者が、継続して来館するよう「小さい子向けおはなし会」等をより充実します。 また、参加回数に応じた表彰等を実施しインセンティブの確保に努めます。 | | |
| | 令和 2 年度実績 | 85回/年 |
| | 令和 4 年度目標 | 180 回/年 |
| | 令和 8 年度目標 | 210 回/年 |
| おはなし・読み聞かせボランティア育成・研修 | | 新規 |
| 「地域・施設等と連携した事業実施の推進」などと連携し、新規のボランティアを育成、募集していきます。 また、地域等と連携したおはなし会等の事業をボランティアの活動の場とします。 | | |
| | 令和 2 年度実績 | 実績無し |
| | 令和 4 年度目標 | 登録ボランティア 35 名 初心者講座 2 回 ステップアップ講座 1 回 |
| | 令和 8 年度目標 | 登録ボランティア 100 名 初心者講座 2 回 ステップアップ講座 2 回 わらべ歌など上級講座 2 回 |
| 地域・施設・医療機関等と連携した事業実施の推進 | | 拡充 |
| 保育園・幼稚園・子育てひろば、児童館・キッズプラザ、地域団体等と連携した出張おはなし会・読み聞かせ講座などの充実・拡大、乳幼児の検診時や医療機関等での本の紹介・展示など様々な場面で読書の楽しさや大切さを伝える機会を増やします。 | | |
| | 令和 2 年度実績 | 40 回 |
| | 令和 4 年度目標 | 60 回/年 |
| | 令和 8 年度目標 | 167 回/年 |

《小学生期の取組》

| | | |
|--|---------|--------------------|
| 「家読」用ブックリストの作成 | | 新規 |
| 家読(家族ふれあい読書)の提案として、家読用ブックリストをホームページ等でPRしていきます。 | | |
| | 令和2年度実績 | 実績無し |
| | 令和4年度目標 | 年1回 |
| | 令和8年度目標 | 年4回 |
| 本への興味を喚起する事業・コンテストの実施 | | 新規 |
| 他の関心から本への興味という趣旨のもと「プログラミング講座」、感想画、本の帯コンテストなど、各種の事業・コンテンツを行います。 | | |
| | 令和2年度実績 | 実績無し |
| | 令和4年度目標 | 5講座・コンテスト |
| | 令和8年度目標 | 15講座・コンテスト |
| 子どもの選ぶ「読んだら良かった100冊」 | | 新規 |
| 小学校中学年～中学生を対象に、子どもたちが「ほしい」、「よかった」本(電子媒体含む)を募集するとともに、児童図書の購入の指標の一つとします。また、それを活用し、ブックマラソンを実施します。 | | |
| | 令和2年度実績 | 実績無し |
| | 令和4年度目標 | 事業の枠組み、PR方法等検討 |
| | 令和8年度目標 | 継続(令和5年度開始) |
| 図書館見学会、おすすめ本の紹介等学校訪問の実施 | | 拡充 |
| 現在実施している図書館見学会、ブックトーク等をより充実していきます。 | | |
| | 令和元年度実績 | 図書館見学会12校 ブックトーク8校 |
| | 令和4年度目標 | 図書館見学会14校 ブックトーク9校 |
| | 令和8年度目標 | 図書館見学会全校 ブックトーク全校 |

| | | |
|---|-----------|--|
| 外国語資料の収集と提供 | | 拡充 |
| 多言語の資料を収集し外国の文化を知るための資料収集を実施します。 | | |
| | 令和2年度実績 | 中央館 72 冊 地域館 16 冊 |
| | 令和 4 年度目標 | 中央館 100 冊 地域館 200 冊 |
| | 令和 8 年度目標 | 中央館 300 冊 地域館 600冊 |
| 外国語による読み聞かせ等の実施 | | 新規 |
| ボランティア、関係団体と協働し、多言語での読み聞かせやおはなし会を実施します。 | | |
| | 令和2年度実績 | 実績無し |
| | 令和 4 年度目標 | 1 回/年 |
| | 令和 8 年度目標 | 12 回/年 |
| 障害のある子どものための資料収集及びサービスの充実(全年齢) | | 新規 |
| 関連団体と連携し、さまざまな形態の資料を収集、提供します。また、バリアフリー絵本展示などで PR を行うとともに、布絵本収集・貸出・作成講習会なども実施していきます。なお、デジタイズ図書再生機(音声読み上げ機)などの台数の増加も図ります。 | | |
| | 令和2年度実績 | 実績無し |
| | 令和 4 年度目標 | 展示 1 回 講習会 1 回 |
| | 令和 8 年度目標 | 展示 4 回 講習会 4 回 |
| 【再掲】ブックリストの配布と個人向けブックリストの配信 | | 拡充 |
| 乳児・幼児・小学生・YA 等への「おすすめ本」のリストを作成・更新・配布をします。また、SNS(Line 等)を活用して、月齢・年齢(0 歳児～15 歳)や興味に応じた個人向けのブックリストの配信を行います。 | | |
| | 令和 2 年度実績 | 乳幼児 7708 部 小学生 10263 部 中学生 3380 部 |
| | 令和 4 年度目標 | 乳児:母子手帳交付時・3～4 ヶ月検診時に配布 幼児:入園児に配布 小学生・中学生:入学時配布 SNS による配信の仕組み検討、データベース作成開始 |
| | 令和 8 年度目標 | 配信(令和 7 年配信開始予定) |

| 【再掲】地域・施設・医療機関等と連携した事業実施の推進 | | 拡充 |
|--|-----------|---------|
| <p>保育園・幼稚園・子育てひろば、児童館・キッズプラザ、地域団体等と連携した出張おはなし会・読み聞かせ講座などの充実・拡大、乳幼児の検診時や医療機関等での本の紹介・展示など様々な場面で読書の楽しさや大切さを伝える機会を増やします。</p> | | |
| | 令和 2 年度実績 | 40 回 |
| | 令和 4 年度目標 | 60 回/年 |
| | 令和 8 年度目標 | 167 回/年 |

《中学生・高校生期の取組》

| YA 世代(ヤングアダルト世代)の読書環境の充実 | | 拡充 |
|--|--|----|
| <p>YA 世代(概ね 13 歳～19 歳)の図書館利用の促進を図るため、YA に向けた図書の充実・展示・ブックリスト配信(SNS)等の多様な事業の展開を図り、読書冊数の向上とともに、「まず来館する」環境作りの充実を図ります。</p> | | |
| 令和 2 年度実績 | YA 蔵書数 14,473 冊 YA 貸出冊数 3,177 冊 YA 世代への貸出冊数 29,568 冊 | |
| 令和 4 年度目標 | YA 世代への貸出冊数 32,500 冊 | |
| 令和 8 年度目標 | YA 世代への貸出冊数 40,000 冊 | |
| 読書のハードルを下げる取組の実施 | | 新規 |
| <p>ブックマラソン(自由・規定)を開催します。 また、読書の習慣を身に着けるための取組、読みやすい資料の収集、ブックリスト作成・更新を進めていきます。 ※ ブックマラソン:指定する読書リスト等から本を読み、その冊数に応じて表彰等を行う事業</p> | | |
| 令和 2 年度実績 | 実績無し | |
| 令和 4 年度目標 | ブックマラソン 2 回/年 | |
| 令和 8 年度目標 | ブックマラソン通年 | |
| 職場体験学習の実施 | | 継続 |
| <p>職場体験学習として中学生を受け入れている体験学習の周知用パンフレットを作成し、各中学校へ配布するなど、参加者数を増やす取り組みを行います。</p> | | |
| 令和 2 年度実績 | 35 回 83 名 | |
| 令和 4 年度目標 | 周知用パンフレット作成 | |
| 令和 8 年度目標 | 50 回 150 名 | |
| 中高生による図書館活性化プロジェクトの開始、推進 | | 新規 |
| <p>中高生による図書館活性化のためのプロジェクトを立ち上げ、利用促進のための企画を策定、実施します。</p> | | |
| 令和 2 年度実績 | 実績無し | |
| 令和 4 年度目標 | プロジェクト策定 PR 参加者募集準備 | |
| 令和 8 年度目標 | 中高生による企画実施(令和 6 年度から順次) | |

| | | |
|---|-----------|--|
| 中学校と区立図書館との共催による知的書評合戦の実施 | | 継続 |
| <p>中学校と共催し、各自が本の感想等を発表し、参加者が評価する知的書評合戦を継続実施します。</p> | | |
| | 令和 2 年度実績 | 全体で年 1 回(各中学校では別途実施) |
| | 令和 4 年度目標 | 継続 |
| | 令和 8 年度目標 | 継続 |
| 【再掲】本への興味を喚起する事業・コンテストの実施 | | 新規 |
| <p>他の関心から本への興味という趣旨のもと「プログラミング講座」、感想画、本の帯コンテストなど、各種の事業・コンテンツを行います。</p> | | |
| | 令和 2 年度実績 | 実績無し |
| | 令和 4 年度目標 | 5講座・コンテスト |
| | 令和 8 年度目標 | 15講座・コンテスト |
| 【再掲】子どもの選ぶ「読んだら良かった100冊」 | | 新規 |
| <p>小学校中学年～中学生を対象に、子どもたちが「ほしい」、「よかった」本(電子媒体含む)を募集するとともに、児童図書購入の指標の一つとします。また、それを活用し、ブックマラソンを実施します。</p> | | |
| | 令和 2 年度実績 | 実績無し |
| | 令和 4 年度目標 | 事業の枠組み、PR 方法等検討 |
| | 令和 8 年度目標 | 継続(令和 5 年度開始) |
| 【再掲】ブックリストの配布と個人向けブックリストの配信 | | 拡充 |
| <p>乳児・幼児・小学生・YA 等への「おすすめ本」のリストを作成・更新・配布をします。また、SNS(Line 等)を活用して、月齢・年齢(0 歳児～15 歳)や興味に応じた個人向けのブックリストの配信を行います。</p> | | |
| | 令和 2 年度実績 | 乳幼児 7708 部 小学生 10263 部 中学生 3380 部 |
| | 令和 4 年度目標 | 乳児:母子手帳交付時・3～4 ヶ月検診時に配布 幼児:入園児に配布 小学生・中学生:入学時配布 SNS による配信の仕組み検討、データベース作成開始 |
| | 令和 8 年度目標 | 配信(令和 7 年配信開始予定) |